

# Hi-MOX

ハイモックス DC-P 複合炭素系吸着剤



## 【ハイモックス】シリーズは

従来の化石資源である「石炭」「コークス」、森林破壊につながる「伐採樹木」を使用せず、地域で発生する「剪定枝・間伐材等」を原料に製造された吸着剤です。

地域で発生した「剪定枝・間伐材等」を原料としますので、循環型社会構築への取組みへとつながり、環境問題・環境リスクの広がりを抑えます。

独自の炭化・賦活工程・添加剤により、優れた吸着性能を発揮します。

従来の活性炭原料で使われる化石資源・森林資源を使用しないこと、製造過程で使用する薬品がないこと、また輸入・陸送の運搬工程が大幅に縮小されることから温暖化ガス・大気汚染を大幅に削減できます。

# Hi-MOX

DC-P 複合炭素系吸着剤シリーズ

■ハイモックス DC-P I (標準品)

■ハイモックス DC-P II (特殊品)

**焼却施設等から排出される排ガス中のダイオキシン類、前駆物質等の低減のために開発した特殊粉末吸着剤です。**

ダイオキシン類の分子の平均長さが約 25 Å (オングストローム) あることに着目し、吸着剤の細孔径が 30~50 Å の範囲で多くなるようプロセス設計されています。それによりダイオキシン類、その前駆物質に対しての吸着性能を大幅に向上させたものです。またバグフィルターからの剥離性も考慮しているので目詰まりの心配もありません。

**用例**

- 一般廃棄物処理場 ●産業廃棄物処理場 ●製鉄工場 ●焼却炉 等

**出荷形態**

- 10kg クラフト紙バッグ ●1m<sup>3</sup> フレコンバッグ ジェットパック車受け入れ態勢によりお選びいただけます。
- 消石灰+粉末活性炭のブレンド品をご利用の場合は、混合比率をご指定ください。  
指定の混合比率にて納入いたします。

**実施例**

実験室・実炉試験を経て 2002 年より実納入を開始し、今日にいたるまで各社製造炉、各方式工場において採用し続けられています。

**[実炉データ]**

施設名称：西多摩衛生組合環境センター  
(一般廃棄物処理施設)  
・平成 10 年運転開始  
・流動床炉 (160t/日 × 3 基)  
・平成 23 年 11 月より納入

採取場所	ダイオキシン類測定値 (ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> )	吹込み量 (kg/h)	採取日年月日
1 号炉 (排ガス)	0.0055	5~7	平成 25 年 11 月 7 日
2 号炉 (排ガス)	0.0027		平成 25 年 10 月 16 日
3 号炉 (排ガス)	0.0036		平成 25 年 12 月 3 日

**リサイクル資源推進事業への取り組み**

西多摩衛生組合環境センター(東京都羽村市)ではリサイクル資源推進事業への取り組みとして、従来の石炭やコークスが原料の活性炭に代わり、構成市町で発生する剪定枝が原料の活性炭 [ハイモックス] シリーズを利用しています。



Hi-MOX (ハイモックス) シリーズは (財)日本環境協会よりエコマークを取得している  
国内唯一の吸着剤で、地球温暖化防止・循環型社会構築の一助となります。

Hi-MOX (ハイモックス) は(株)カーボテック(以下カーボテック)の製造特許を有した製品です。  
当社は『地球温暖化防止』『循環型社会構築』の一助を担うため、カーボテックより関東地方での  
ハイモックス製品の「製造・販売」の許可を得て事業化を行っています。



木質部に再・未利用材  
を 100% 使用

エコマーク認定番号  
05115006

株式会社 芝堅

〒206-0823 東京都稻城市平尾 1-41-2

TEL.042-331-2074 FAX.042-331-9751 Email office@shibakenzoen.co.jp